



＝平賀緑さん連続講座＝

《食とお金の話》

「大いなる豆」であるはずの大豆がアマゾンの森林火災を引き起こし、「気候危機（クライシス）」の一大要因に私たちの食生活がある！？
 なぜ、自然の恵みであり生命の糧であるはずの農と食が、地球の環境も人の健康もいちばん壊すような世界になってしまったのか。その背後にある世界経済の移り変わり「金融化」について。食べることから資本主義経済のカラクリを三回シリーズでお話していきます。「難しいと避けられがちな『ケイザイ』とですが、砂糖や油や大豆やお肉から説明しますので、気軽に参加下さい」との平賀先生からのご案内をお届けします。

〔平賀緑(ひらがみどり)さんプロフィール〕.....
 広島出身。1994年に国際基督教大学卒業後、香港中文大学へ留学。香港と日本において新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、1997年からは手づくり企画「ジャーニー・トゥ・フォーエバー」共同代表として、食料・環境・開発問題に取り組む市民活動を企画運営する。2011年に大学院へ移り、ロンドン市立大学修士（食料栄養政策）、京都大学博士（経済学）を取得。植物油を中心に食料システムを政治経済学的アプローチから研究している。著書に『植物油の政治経済学—大豆と油から考える資本主義的食料システム』（昭和堂・2019年）.....

◆第1回 2020年1月18日(土) 午後1時30分～4時

「大豆と油から考える資本主義的食料システム」

大豆といえれば日本やアジアの「伝統食」というイメージが強いですが、じつは現在の大豆を含む食料システムが、気候変動の一大要因とみなされています。「伝統食」だった大豆が「商品」へと転じた歴史について紹介し、大豆と油から「資本主義的食料システム」を解説します。問題が山積する食と農について、新しい視点から見極めることができますように。

▼場所・クレオ大阪東調理室 ▼参加費・500円(新巻の味も)

☎06-6965-1200(京阪・JR「京橋」南口下車8分)

◆第2回 2/8日(土) 午後1時30分～4時

「砂糖や豚からまなぶ世界経済の歴史」

お金の世界に巻き込まれた食と農から、私たちが生きる経済社会のカラクリが見える。砂糖と産業革命から、大量消費時代の「デブの帝国」、その中で築かれた日本の食料システム、そしてグローバル化時代の中国の豚について。難しいと毛嫌いされる「ケイザイ」の歴史を食べものから解き明かす、学生たちにも好評の授業を披露します。

▼場所・大阪市立総合生涯学習センター第7研修室 ▼参加費・500円

☎06-6345-5000 (大阪駅前第2ビル5F)

◆第3回 2/15日(土) 午後1時30分～4時

「お金の世界はどこへ向かうのか？」

食料や農地が金融商品としてマネーゲームに翻弄されること。年金がもたらえなくなること。損するかわかっていても水道を民営化すること。一見バラバラな現象ですがその根っこは同じ「横取りによる資本蓄積」かもしれない。ますます強まる経済の「金融化」と搾取の構造。その中で生き延びるためには？

▼場所・クレオ大阪中央第2会議室 ▼参加費・500円

☎06-6770-7200 (地下鉄谷町線「四天王寺前夕日が丘」下車5分)

[申し込み先①～③とも]... TEL/FAX 072-871-5624 (生田喜代子)

主催・平賀緑さんの連続講座を聞く会

共催・日本の伝統食を考える会

